

吉崎いずみ通信 vol.4

渋谷区議会議員 吉崎いずみ

2024年第1回定例会号

渋谷区議会区政報告



発行: 渋谷区議会公明党 東京都渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所内

公明党が提案した補聴器助成が対象拡大！上限額も増額へ！

ウィッグ・人口乳房の助成がスタート！ 「こころママ」事業を3歳未満まで拡大！

第1回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和6年2月21日(趣意)

福祉

補聴器助成の拡充について

質問 現在渋谷区では、補聴器を購入した場合に一部助成を行っています。

これまでも昨年の第1回定例会、また第4回定例会等で、我が会派より補聴器助成の拡充について提案をさせていただきました。来年度予算編成に組み込んで頂き、大変感謝申し上げます。令和6年度からの拡充内容を伺います。

答弁 (区長) これまで非課税者に限定していた補聴器購入費の助成対象者について、課税者の中でも低所得者は助成を受けられるよう対象範囲を広げます。

また、助成上限額については、実際に購入されている補聴器の実績をふまえ金額を増額します。制度拡先をきつかけに、より多くの高齢者に活用いただけるよう準備を進めてまいります。



デジタルデバイス解消について

質問 我が会派が提案した

デジタルデバイス解消事業も、スマホの無償貸与とスマホ教室からスタートし、デジタル活用支援員の拡充、派遣、マイナンバーカードの申請窓口や、ハチペイの支援にも対応していただいています。

災害時の情報弱者を無くすためにスタートした事業です。年頭に起きた能登半島地震を新たな教訓として、防災アプリの講習会の再度開催や、新たに、各キャリアの安否確認機能の使い方方の講習会など開催していただきたいと考えます。

答弁 (区長) 現在開催しているスマートフォン講座では、基本操作やコミュニケーションなど初歩的な使い方の講座に人気が集まり、防災がメインテーマの講座は申込みが少ない状態でした。

そのため、来月より、全ての講座のテキストに必ず防災のコンテンツを追加して、

どの講座を受講しても防災に関する知識が身につくようにします。

また、今後は防災アプリだけでなく、キャリアごとの安否確認機能の紹介も盛り込むことを検討してまいります。

健康

医療用ウィッグ、人工乳房の助成について

質問 我が会派は昨年の第1回定例会でがん治療中の方へのウィッグ等購入費用助成制度を提案しました。

来年度より助成が開始されることになり、利用を希望されている方がより良い療養生活が送れる一助になればと思います。

今回の助成は医療用ウィッグ・人工乳房の購入助成になります。一人でも多くの方にご利用いただけるよう、丁寧な情報と周知が必要で、助成内容と周知方法について伺います。

答弁 (区長) 助成内容については、対象品1点当たり10万円を上限として、1人につき2点まで助成いたします。

事業の案内については、区ニュースやウェブサイト等により、丁寧な周知に努めます。



ピンクリボン啓発活動の推進について

質問 昨年第2回定例会で私が、

乳がん経験者、また治療中の方々の支援を提案いたしました。今回は乳がんピンクリボン啓発活動の更なる推進のため、渋谷区くみんの広場のブーンスなどにピンクリボンアドバイザーの派遣を提案します。

答弁 (区長) 乳がん啓発については、昨年10月のピンクリボン月間に渋谷駅ハチ公像に乳がん啓発のためのピンクのタスキをかけるとともに、デジタルサイネージで予防知識の動画を流したり、区役所1階のエレベーターホールにパネルを展示するなど、積極的に普及啓発を行っています。

今後は、ピンクリボンアドバイザーを活用した、くみんの広場での啓発も含め、医師会なども連携し、啓発活動を広げていくことを検討いたします。



防災

携帯トイレ個別配布について

質問 本年1月1日、能登半島地

震により多くの方が犠牲になりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお

見舞い申し上げます。

1・17渋谷区「防災点検の日」に配布している防災備蓄品チェック表を活用し、家庭における備蓄品点検を推進していただきたいと思っております。

その際に啓発の一助となるよう、災害時携帯トイレの個別配布を行うってはいかがでしょうか。

答弁（区長）携帯トイレの全区民への配布については費用面などの課題もありますので、引き続き研究課題とさせていただきます。

グリーン住宅の耐震助成について

質問 昭和56年以前に建築された建物は、耐震性が不十分なものが多く存在します。

能登半島地震を受けて、あらためて耐震の見直しが求められている中、これまで我が会派が要望し続けてきた、耐震診断の対象に入っていないかった昭和56〜平成12年に建てられたグリーンゾーン住宅の新規耐震診断の予算が来年度予算編成に盛り込まれました。来年度、全区的に見直し、推進をされる耐震助成について伺います。

答弁（区長）木造住宅の耐震診断と耐震改修については、2階建て以下かつ、在来軸組工法の建築物について、これまでの昭和56年5月以前に工事着手したもののから、昭和56年6月〜平成12年5月に工事着手したもので範囲を拡充し、国や東京都からの補助金

を受け、区内全域を対象として助成を実施してまいります。



校庭のトイレ洋式化について

質問 現在、区立小中学校の校庭にあるトイレは和式トイレが多く、学校開放や避難所としても利用される事から、子どもから高齢者の方までが利用しやすい洋式トイレの改修が望まれています。

学校建て替えまでの間、簡易な改修も含めて、できる限り洋式化への改修を提案します。

答弁（区長）学校の屋外のトイレについては、地域からのご要望も多く、学校建て替えロードマップも踏まえつつ、可能な範囲で改修を進めてまいります。

生活

「ハチペイ」における経済負担軽減について

質問 我が会派が提案した「プレミアム付きハチペイデジタル商品券の販売」、「ハチペイ30%還元キャンペーン」など、区民と中小事業者や区内店舗等に寄り添う支援策を講じてきました。

また現在2月1日〜3月29

日まで「プレミアム付きハチペイデジタル商品券第2弾の販売」を行っています。

物価高騰に苦しむ区民及び区内事業者、区内店舗等を支援するため、令和6年度もハチペイを活用したプレミアム付デジタル商品券販売の第3弾やキャンペーンの実施などの引き続き、支援策を検討して頂きたいと思っております。

答弁（区長）来年度も、議員ご提案のハチペイデジタル商品券などの様々なキャンペーンを実施するための予算を計上しています。物価高騰の状況やハチペイの利用状況を見ながら実施時期や内容について適宜適切に検討し、引き続き区内産業と区民生活の支援に取り組んでまいります。



給付金申請のオンライン導入について

質問 給付金等の支給は、現在、郵送や窓口による申請を導入しています。

一方、オンライン等を活用して利便性を高め、できる限り速やかに申請・支給を行うことが望まれます。

今後、低所得者・非課税世帯などへの給付や所得税・住民税の定額減税等にオンライン等の導入を検討してはいかがでしょうか。

答弁（区長）来年度に実施を予定している低所得者・非課税世帯などへの給付や所得税・住民税の定額減税等の給付事務について、申請者の利便性や費用対効果等を踏まえながらオンライン申請の導入を検討してまいります。

今後、様々なニーズに合わせて、誰もが使いやすい支援の拡充を希望します。

子育て支援

育児支援ヘルパー派遣について

質問 我が会派が提案した「ここママ」事業も来年度より対象を3歳未満までの拡充が決まりました。

今後、様々なニーズに合わせて、誰もが使いやすい支援の拡充を希望します。

答弁（区長）子育て中の保護者が、養育に困りの際に利用する補助的サービスとしてスタートしましたが、困った際はもちろんのこと、保護者が当り前に利用するサービスへと変化してきていると実感しています。

今後、変化する子育て環境を見据えて、保護者にとって更に利便性が高く、多くの子育て世帯が気軽に利用していただけるサービスとなるよう事業全体を見直し、改善を図ってまいります。



——もっと元気に！区政に生活者の視点を——
みなさまの声をお聞かせください！

よしざき

渋谷区議会議員

吉崎 いずみ



X (旧Twitter)

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1 TEL. 03-3463-1036
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室 FAX. 03-5458-4962

